

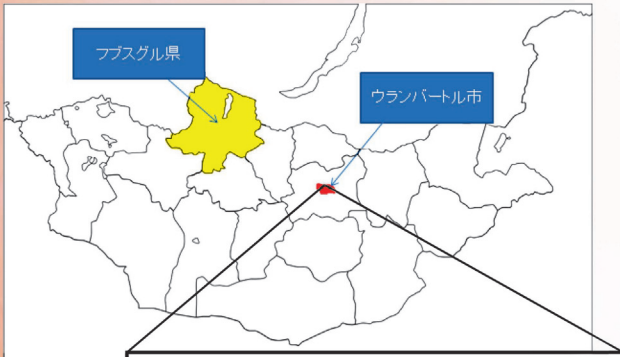
成果4: 制度、政策への反映

がわかんけいしゆ かつどう
 モンゴル側関係者と、プロジェクト活動の
 せいか きょうゆう くに せいど せいさく はんえい
 成果を共有し、国レベルの制度、政策へ反映さ
 れるよう取り組みます。



プロジェクト対象地域

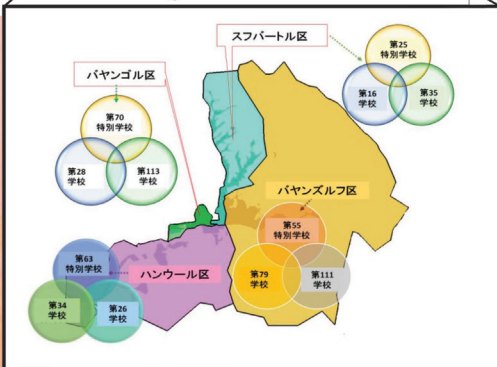
し くに ちほう
 ウランバートル市ではバヤンゴル区を、地方か
 けん ちいき せんてい
 らはフブスグル県をパイロット地域として選定
 かつどう
 し、活動しています。



上: モンゴル
 全体の地図

下: ウランバ
 ートル市の地図

※市内の12校
 をパイロット学
 校としています。



連絡先

プロジェクト事務所

- 教育・文化・科学・スポーツ省：
 政府庁舎 3号館 212号室
 電話：976-9424-0702
- 労働・社会保障省：
 国立リハビリテーションセンター228号室
 電話：976-8634-0702
- メール：jica15start@gmail.com
- プロジェクトウェブサイト：
<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/O13/index.html>

総括/教育政策1	石井 徹弥
副総括/教育政策2	鈴木 サヤカ
アセスメントツール作成1	林 安紀子
アセスメントツール作成2	橋本 創一
アセスメントツール作成3	菅野 敦
アセスメント体制構築支援1	西村 久美子
アセスメント体制構築支援2	桜井 良平
特別支援教育1	大伴 潔
特別支援教育2	根本 友己
ミニプロジェクト管理/教員研 修/教員養成1	上原 翔子
教員研修/教員養成2/広報/啓発	守屋 仁香
プロジェクトスタッフ	G. ソヨルゲレル
	Kh. ガンバートル
	G. ノルジマー
	B. ナランガラワ
	T. ニヤムダシ
	D. オドゲレル
T. ムンフトウヤ	
P. パトチメグ	



教育・文化・
 科学・スポーツ省



労働・社会保障省

こく
 モンゴル国

しょうがいじ

きょういくかいぜん

障害児のための教育改善プロジェクト



しょうがい そうきはっけん こ たい
 ~障害の早期発見、子どもたちに対する
 はったつしえん きょういく こうちく めざ
 発達支援や教育のモデルを構築することを目標
 かつどう
 し活動しています~



じっしきかん なん がつ なん がつ
 プロジェクト実施期間：2015年8月~2019年7月

せい か はったつしえんたいせい こうちく
成果1:アセスメント・発達支援体制の構築

ちいき かんけいきかん
 パイロット地域において、関係機関のアセス
 はったつしえん じっし のうりよく きょうか
 メント・発達支援を実施する能力を強化するた
 かつどう
 めに活動しています。これまで、アセスメン
 はったつしえん かん けんしゅうかい しょうがい
 ト・発達支援に関する研修会や障害の
 そうきはっけん ほしてちょうかつよう など
 早期発見のための母子手帳活用セミナー等を
 じっし
 実施しました。



バヤンゴル区にてア
 セスメント・発達支援
 研修会の実施
 (2016年3月)

ウムヌゴビ県「障
 害児のための保
 健・教育・社会保
 障支部委員会」
 の活動視察
 (2016年4月)



母子手帳活用セミ
 ナーの実施
 (2016年5月)



せい か しょうがい こ たい きょういく しつ こうじょう
成果2:障害のある子どもに対する教育の質の向上

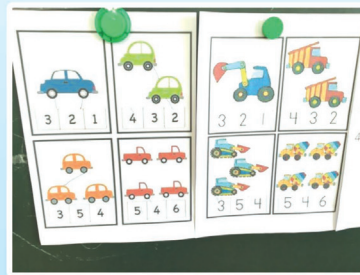
しょうがい こ しつ たか きょういく
 障害のある子どもたちへ質の高い教育を
 ていきょう とくべつがっこう こべつきょういくけいかく
 提供するため、特別学校にて個別教育計画や
 しどうあん さくせい けんきゅうじゅぎょうなど じっし
 指導案の作成、研究授業等を実施しています。
 しょうがい こ きんりん
 また、障害のある子どもたちは近隣の
 つうじょうがっこう ざいせき ほん
 通常学校にも在籍しています。そこで本プロ
 とくべつがっこう きょういん
 ジェクトでは、特別学校の教員によるパイロッ
 つうじょうがっこう じょげんかつどう しえん
 ト通常学校への助言活動を支援しています。



特別学校の授業の様子
 (2015年9月)



研究授業後の協議会
 (2016年3月)



研究授業で使用した数の
 学習シート(2016年3月)

とくべつがっこう にほん とくべつしえんがっこう
 ※特別学校とは、日本の特別支援学校にあたります。

せい か じっし
成果3:ミニ・プロジェクトの実施

しょうがい こ さまざま おう
 障害のある子どもたちの様々なニーズに応じ
 きょういくじっせん おこな ぜんこく ひきゅう
 た教育実践を行い、モンゴル全国に普及できる
 かいはつ
 モデルを開発するために、「ミニ・プロジェク
 じっし ねん
 ト」を実施しています。2016年には、モンゴル
 ぜんこく けん おうぼ しょうい めんせつせんこう
 全国から35件の応募があり、書類と面接選考の
 けっか い か けん さいたく
 結果、以下の3件が採択されました。

団体名/場所	「プロジェクト名」/内容
モンゴル ダウン症協会 ウランバートル市 ハンウル区	「知的障害のある子どもたちの インクルーシブ教育プロジェクト」 第130通常学校にダウン症の子ども たちが通うパイロット学級を設置し、通 常学級の子どもとともに体育、音楽、 美術などの授業を行う。
オルホン県 生涯学習センター	「私たちは学べる」(生涯学習センター での障害児受け入れプロジェクト) 不就学の障害のある子どもを対象 にノンフォーマル教育を行う。センター に通えない子どもに対しては、訪問教 育を実施する。
オルホン県 バヤンウンドウル郡 子ども 発達情報UCHRAL センター ウランバートル市 中央6区	「障害児のための児童預かりサービ ス強化プロジェクト」 政府の認定を受けて、家庭で預かり 保育を行っている人々に、障害児に対 する接し方や指導法を身につけてもら うため、研修モジュールを開発する。 そして、プロジェクト対象地域で研修 を実施する。

上記ミニ・プロ
 ジェクトの実施期
 間は、
 2016年6月～
 2017年5月です。

